



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 Nexus Bank株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4764 URL https://www.nbank.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 譲二
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 正司 千晶 (TEL) 03(5259)5300
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	16,274	—	3,454	—	3,467	—	3,023	—
2020年12月期第3四半期	378	△50.7	△199	—	△205	—	△293	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,941百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △290百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	18.66	—
2020年12月期第3四半期	△8.38	—

- (注) 1. 当第3四半期連結累計期間における営業収益の対前年同四半期増減率については、1,000%を超える為、決算短信作成要領に則り、記載しておりません。
2. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当第3四半期連結累計期間においては、当社の発行しているA種優先株式が転換仮定方式に基づき算定された株式数を、普通株式の期中平均株式数に加えて、1株当たり四半期純利益を算定しております。但し、A種優先株式の転換後株式総数が発行可能株式総数を超過する場合、発行可能株式総数を上限として転換を実施したものと仮定して普通株式増加数を計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	235,048	27,843	11.8	53.54
2020年12月期	212,366	24,178	11.4	21.29

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 27,782百万円 2020年12月期 24,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	416.2	3,500	832.5	3,500	875.4	3,100	—	19.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名） 、除外 2社（社名） SAMURAI証券株式会社、
SAMURAI ASSET FINANCE
株式会社

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	59,739,300株	2020年12月期	38,635,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	—株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	49,587,020株	2020年12月期3Q	34,968,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、2021年9月30日をもって緊急事態宣言が解除されるなど経済活動の持ち直しの動きは見られたものの、その収束は依然として見通せない状況にあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。韓国国内におきましてもワクチン接種が進んでいるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大が影響し経済活動の回復ペースは鈍化傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、2021年2月24日に公表した“Growth(成長)”を基本テーマとする中期経営計画「Nexus Growth Plan 2023」に基づき、海外Fintechの安定的な成長と、国内Fintechの基盤再構築を着実に進め、既存事業とシナジー効果のある「スタートアップ」、「ITサービス」、「エンタメ・コンテンツ」、「日韓ビジネス」をテーマとした新たな事業領域の開拓に向け、投資活動を進めていくことに注力しております。

新たな事業領域の開拓に向けた投資活動として、2021年8月にオイテル株式会社との極度枠融資契約締結や2021年9月に株式会社VT Entertainmentに所属する男性7人組韓国アイドルグループ「BLACK LEVEL」の日本国内における芸能活動すべての権利を有する日本専属マネジメント契約を締結しております。

なお、Fintech事業の海外エリアでは、韓国国内における総量規制や上限金利規制をはじめとした金融圏の貸付規制強化が継続される中、厳しい審査基準のもとで行ってきた中金利帯の個人向け無担保貸付を中心に新規貸付が堅調に推移した結果、同社の2021年9月末の貸付残高は192,860百万円と拡大しております。また、Fintechサービスの領域拡大・質的向上を目的とした継続的なIT投資の他、Fintech事業者との連携による更なる競争力の確保に引き続き注力した結果、当第3四半期連結累計期間の海外エリアの営業収益は15,719百万円、営業利益3,897百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績におきましては、営業収益16,274百万円(前年同四半期比15,896百万円増)、営業利益3,454百万円(前年同四半期は営業損失199百万円)、経常利益3,467百万円(前年同四半期は経常損失205百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益3,023百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失293百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状況におきましては、総資産は、235,048百万円(前連結会計年度末と比べ22,681百万円増)となりました。

また、流動資産は、230,186百万円(前連結会計年度末と比べ22,501百万円増)となりました。これは主に現金及び預金が22,632百万円(前連結会計年度末と比べ3,785百万円増)、銀行業における有価証券が18,539百万円(前連結会計年度末と比べ3,506百万円増)、営業貸付金が193,098百万円(前連結会計年度末と比べ15,651百万円増)及び貸倒引当金が8,852百万円(前連結会計年度末と比べ317百万円減)となったこと等によるものであります。

固定資産は、4,862百万円(前連結会計年度末と比べ179百万円増)となりました。これは主に有形固定資産が2,355百万円(前連結会計年度末と比べ28百万円減)、無形固定資産が766百万円(前連結会計年度末と比べ70百万円減)、投資その他の資産が1,740百万円(前連結会計年度末と比べ278百万円増)となったこと等によるものであります。

流動負債は、204,600百万円(前連結会計年度末と比べ18,788百万円増)となりました。これは銀行業における預金が199,904百万円(前連結会計年度末と比べ22,187百万円増)、匿名組合預り金が0円(前連結会計年度末と比べ1,240百万円減)、1年内返済予定の長期借入金236百万円(前連結会計年度末と比べ490百万円減)、未払法人税等が317百万円(前連結会計年度末と比べ648百万円減)となったこと等によるものであります。

固定負債は、2,604百万円(前連結会計年度末と比べ228百万円増)となりました。これは繰延税金負債が499百万円(前連結会計年度末と比べ271百万円増)、長期預り保証金が252百万円(前連結会計年度末と比べ138百万円増)となったこと等によるものです。

純資産は、27,843百万円(前連結会計年度末と比べ3,664百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年8月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,847	22,632
受取手形及び売掛金	2,047	1,916
営業貸付金	177,446	193,098
銀行業における有価証券	15,033	18,539
営業投資有価証券	0	—
仕掛品	0	1
原材料及び貯蔵品	4	10
その他	3,473	2,839
貸倒引当金	△9,169	△8,852
流動資産合計	207,684	230,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	475	575
減価償却累計額	△156	△168
建物及び構築物(純額)	318	406
工具、器具及び備品	1,046	1,025
減価償却累計額	△747	△753
工具、器具及び備品(純額)	298	272
車両運搬具	8	8
減価償却累計額	△3	△4
車両運搬具(純額)	5	4
使用権資産	1,797	1,552
減価償却累計額	△504	△348
使用権資産(純額)	1,293	1,204
土地	468	468
有形固定資産合計	2,383	2,355
無形固定資産		
ソフトウェア	566	463
のれん	20	15
その他	249	286
無形固定資産合計	837	766
投資その他の資産		
投資有価証券	19	19
差入保証金	896	664
長期前払費用	26	25
出資金	341	918
固定化営業債権	359	179
繰延税金資産	35	0
その他	141	111
貸倒引当金	△359	△179
投資その他の資産合計	1,461	1,740
固定資産合計	4,682	4,862
資産合計	212,366	235,048

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35	37
匿名組合預り金	1,240	—
顧客預り金	660	0
銀行業における預金	177,716	199,904
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	727	236
リース債務	226	310
未払金	370	334
未払法人税等	965	317
前受金	12	19
賞与引当金	0	0
預り金	89	83
未払費用	2,728	2,460
その他	837	694
流動負債合計	185,811	204,600
固定負債		
長期借入金	337	284
長期預り保証金	113	252
社債	600	600
リース債務	1,096	968
繰延税金負債	228	499
固定負債合計	2,375	2,604
負債合計	188,187	207,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	50	414
資本剰余金	23,942	23,746
利益剰余金	△405	3,178
株主資本合計	23,587	27,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	32
為替換算調整勘定	543	409
その他の包括利益累計額合計	524	442
新株予約権	59	53
非支配株主持分	7	8
純資産合計	24,178	27,843
負債純資産合計	212,366	235,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	378	16,274
営業費用	77	7,624
営業総利益	300	8,650
販売費及び一般管理費	499	5,195
営業利益又は営業損失(△)	△199	3,454
営業外収益		
受取利息	0	0
貸倒引当金戻入額	—	0
有価証券売却益	0	—
受取手数料	0	10
役員報酬返納額	0	—
為替差益	—	0
受取遅延損害金	—	8
その他	0	8
営業外収益合計	2	27
営業外費用		
支払保証料	—	5
支払利息	2	2
為替差損	5	—
その他	1	6
営業外費用合計	8	15
経常利益又は経常損失(△)	△205	3,467
特別利益		
受取和解金	6	—
関係会社株式売却益	—	754
特別利益合計	6	754
特別損失		
訴訟関連費用	3	0
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	—	0
有価証券評価損	8	—
特別損失合計	11	0
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	△210	4,221
匿名組合損益分配額	70	24
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281	4,196
法人税、住民税及び事業税	11	880
法人税等調整額	0	291
法人税等合計	11	1,172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△293	3,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△293	3,023

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△293	3,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	51
為替換算調整勘定	—	△133
その他の包括利益合計	2	△82
四半期包括利益	△290	2,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△290	2,940
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

① 配当金支払額

該当事項はありません。

② 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

③ 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

① 配当金支払額

該当事項はありません。

② 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

③ 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、ストックオプションとしての新株予約権の行使により、資本金が11百万円、資本準備金が11百万円増加しました。また、第三者割当有償増資としての新株予約権の行使により、資本金が353百万円、資本準備金が353百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末において、資本金が414百万円、資本剰余金が23,746百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	Fintech事業	ITソリューション事業	その他	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	178	159	40	378	—	378
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	178	159	40	378	—	378
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△40	30	36	26	△226	△199

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△226百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	Fintech事業	ITソリューション事業	その他	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	16,080	146	48	16,274	—	16,274
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,080	146	48	16,274	—	16,274
セグメント利益	3,818	15	45	3,879	△424	3,454

(注) 1. セグメント利益の調整額△424百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、新規子会社のグループ化に伴い、事業セグメントの区分を従来の「投資銀行事業」「ITサービス事業」から、「Fintech事業」「ITソリューション事業」「その他」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。